

取扱説明書



ADVANCE CAN Driver SET アドバンス キャンドライバーセット DF15701, DF15702, DF15801

本製品は車両のOBD IIコネクターからISO-CAN 情報を取得し、メーターを動作させるアドバンスキャンドライバーと、メーターのセット品です。アドバンスキャンドライバーの取扱説明書と合わせてお読みください。
※対応する車種に関しては、Defi Web サイトに掲載しているCAN Driver 適合車種リストをご参照ください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

お客様・取り付け業者様ともに、ご使用前に必ず本取扱説明書と保証書をよく読みの上、十分に内容を理解してから正しくお使いください。特に安全・取り扱いに関するご注意は必ず守っていただきたい事項と、守っていただきたい事項も取り出せる所大切に保管し、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。本製品 (及び本製品が取り付けられている車) を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書及び保証書も必ずお渡ください。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承いただけますようお願い申し上げます。

本製品をお取り付けの際は、取り付けの車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項も合わせてよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、お取り付けになる前に本体及び付属品が全て入っているかご確認ください。

http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず守っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていたきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

注意 (警告を含む)	をしなければならぬ記号です。
禁止	は、行為を禁止する記号です。(絶対にしては行けない事です。)
強制	は、行為を指示する記号です。(必ず行っていたくことです。)

取り付け作業をする前に (取り付け業者様へ)

危険

- 作業を行う時は必ず車が動き出さないよう措置をし、エンジンを停止してから行うください。作業中に車が動き出したり、火災の原因となり大変危険です。
- 配線作業中は必ず「バッテリー」から離れ、バッテリーのマイナス(ターミナルを外して)エンジンを外していただき、ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は該配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- ネアアンプ、アンプなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。
- 配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボンを必ず使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかる場合は、緩衝材(コルク等)などで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線、かかっているか確認していただく。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- ヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
- 製品に付属しているヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。
- 製品は水のかかる場所、湿気やほりの多い場所には取り付けしないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

警告

- 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
- 本製品を絶対に改造・分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
- 必ず既存の配線に影響が出ないよう配慮してください。
- 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。
- 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。
- 真実保護装置(エアバッグ等)の作動に影響を及ぼす場所には取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。
- 車種適合表で適合不可となっている車両及び適合表に記載のない車両への取り付けはお止めください。
- イلم出力は Defi 以外の製品や車両側の配線に絶対に接続しないでください。車両や製品の配線に故障したり誤動作する可能性があります。
- 車速・エンジン回転数信号出力は Defi 以外の製品や車両側の配線に絶対に接続しないでください。車両や製品が故障したり誤動作する可能性があります。

注意

- 12V 仕様車専用です。12V 車以外には取り付けしないでください。
- 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取付時に外したり、ゆるめた部品やコネクター、新たに配線したものは必ず正しく組みつけ、固定してください。
- 本製品に過大な力をかけた時、ぶついたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 本製品付属のハーネス以外で配線をしてください。
- ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に当り手を切傷することがないように手袋を着用してください。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- インストルメントパネルの助手席側及びセンターに本製品を埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。
- 本製品は無線や携帯電話等電波を発する機器が入れないように設置してください。製品誤動作の原因となります。
- 本製品は、水のかかる場所、湿気やほりの多い場所、直射日光のある場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- 清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。
- ハーネスは点火信号や無線、HID ユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。
- コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを強く引っ張る、ロックを確実に押しながら抜いてください。

確認

- 取り付けは必ず本書に従ってください。
- バッテリーのマイナス(ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
- メーターは前面に傾けないでください。オイルが漏れる可能性があります。Aの角度は90度以上でなくてはなりません。
- 取り付け作業が終了したら、本取扱説明書、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
- 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば、正常動作します。
- 純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
- ナビゲーションシステムやカーナビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行なってください。近付いたり、ハーネスと一緒に束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
- 取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取り扱いに関して (お客様・取り付け業者様へ)

警告

- 本製品をお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
- 走行中は安全のため本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- 表示がでないなどの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生したら、すみやかに販売店、取り付け店に連絡ください。そのまま使用になります。事故や火災の原因となり大変危険です。
- 車両の警告灯 (エンジンチェック警告灯など) が点灯した場合は直ちに車両を停止し、エンジンをオフしてください。エンジンをおフ後、OBD IIコネクターから本製品を取り外してください。車両の警告灯が点灯している状況で車を無理に続けると、車両故障や事故の原因となり大変危険です。
- 操作は車を停止して行ってください。
- 幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにインパネ等しっかりと固定してください。

注意

- 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクター部によってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。

確認

- 旧Defi-Linkシステムとリンクさせることはできません。
- 同一表示 (機種) のメーターは同時に接続できません。(例: ターボ計を2つ接続など)
- 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。
- 本製品は明色系高輝度LEDを使用しています。LED生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
- アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフオンする場合がありますが、製品の異常ではありません。
- 取付後も定期的な点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。
- 本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。
- 廃棄する時は、各自自治体の指示に従ってください。

ラインナップ

品番	構成	表示範囲	照明色
DF15701	CAN Driver + ADVANCE BF タコメーター (Φ60)	0 ~ 9000rpm	白
DF15702	CAN Driver + ADVANCE BF タコメーター (Φ80)	0 ~ 11000rpm	白
DF15801	CAN Driver + ADVANCE A1 タコメーター (Φ80)	0 ~ 11000rpm	白

製品仕様

- 温度範囲(すべて温度80%以下とする) ■照明色
保存温度範囲 使用温度範囲 メーターワーニングLED: 赤 BF照明色: 白 指針: 赤
メーター -30 ~ +80℃ -20 ~ +60℃ メーターピークLED: 青 A1照明色: 白 指針: 白

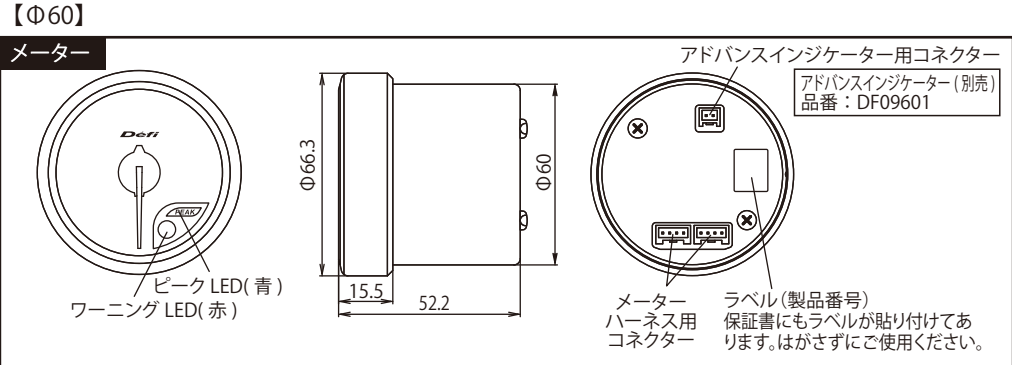
構成部品・補修パーツ

	構成部品	数量	DF15701	DF15702	DF15801
Φ60/ Φ80 共通	キャンドライバー本体	1	○	○	○
	電源ハーネス1m(シガープラグ1.5m)	1	○	○	○
	メーターハーネス2m	1	○	○	○
	OBDIIハーネス20cm	1	○	○	○
	アダプターハーネス80cm	1	○	○	○
	両面テープ(1)	1	○	○	○
	エレクトロタップ	1	○	○	○
	タイラップ	3	○	○	○
	ピタック	1	○	○	○
	Φ60メーター本体	1			
	メーターホルダー	1			
Φ60	取付金	1	○	—	—
	M4ボルト&ナット、ワッシャー	1			
	モルトブレンΦ60用	1			
	両面テープ(2)	1			
	Φ80メーター本体	1			
	バックケース	1			
	モルトブレンΦ80用	1			
	取付バンド	1			
	取付ゴム	1			
	取付金	1			
Φ80	M6ボルト&スプリングワッシャー&ワッシャー	2			
	スプーサー	1			
	タッピングネジ	2			
	両面テープ(2)	1			
		1			

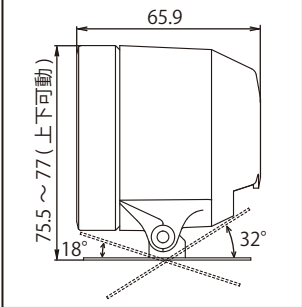
上記以外に取扱説明書(本書)と保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

補修パーツ	品番
電源ハーネス	PDF15601H
車速・エンジン回転数信号出力ハーネス	PDF15602H
管ヒューズ 2A(シガープラグ用) 2ヶ入り	PDF15603G
ADメーターハーネス 2m	PDF07710H
ADメーターホルダー (Φ60用)	PDF08606G
ADモルトブレン (Φ60用)	PDF07808G
ADメーター&ZD付属品 (Φ60用)	PDF07809G
バックケースセット (Φ80用)	PDF07101G
取付バンドセット (Φ80用)	PDF07103G
取付金セット (Φ80用)	PDF07104G

各部名称・寸法(mm)



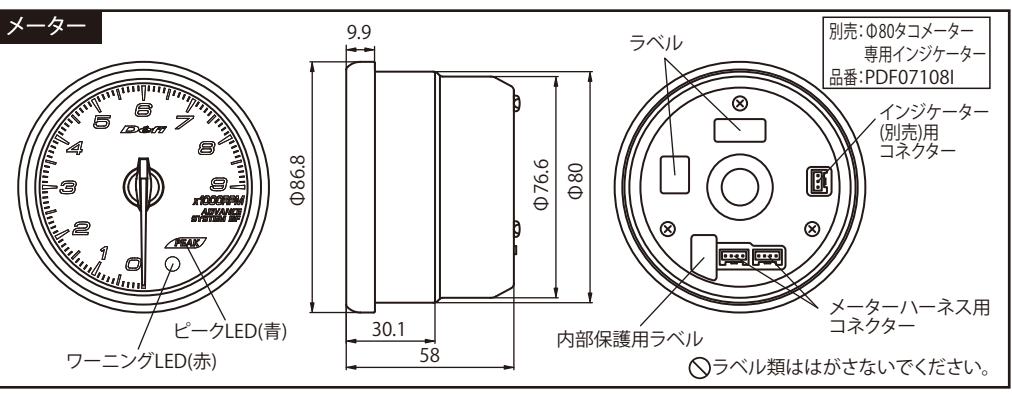
メーターホルダー装着時



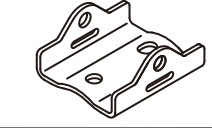
レギュラーポジションベゼル(別売)

メーターの前面にはこむデザインリングです。
BF用 品番: PDF08607G

【Φ80】



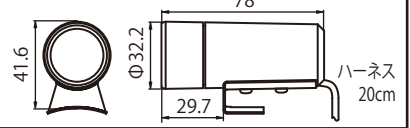
取付金



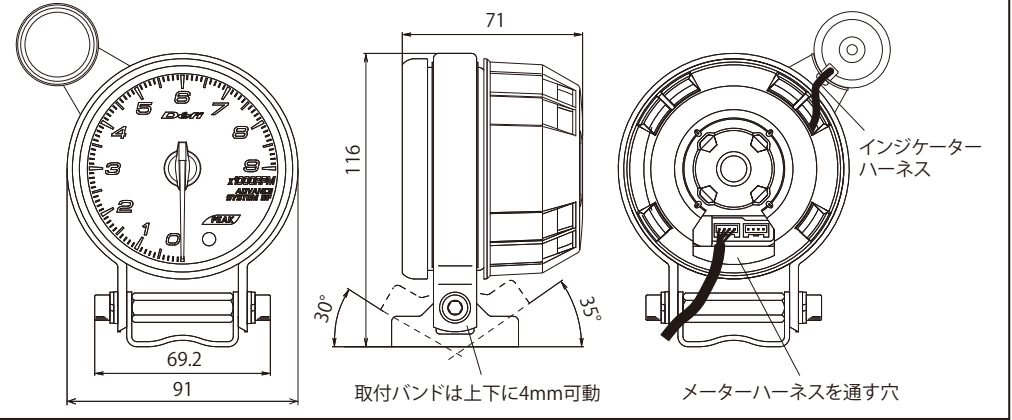
レギュラーポジションベゼル(別売)

メーターの前面にはこむデザインリングです。
BF用 品番: PDF07105G
A1用 品番: PDF15502G

インジケーター(別売)



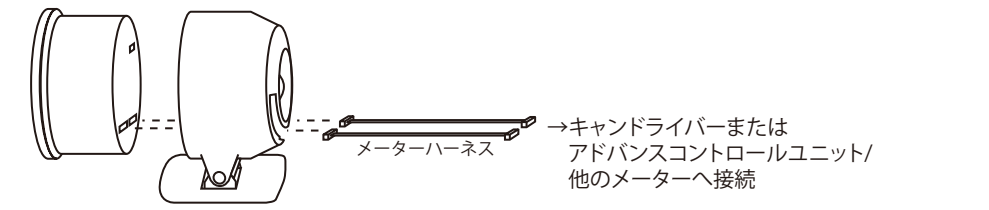
メーター組立完成例 ※インジケーターは別売です。



取付方法 (お客様・取り付け業者様へ)

- アドバンスキャンドライバーの取扱説明書を参照しながら取り付けてください。
- お取り付けになる前に構成部品が全て入っているか確認ください。

ハーネスの配線方法

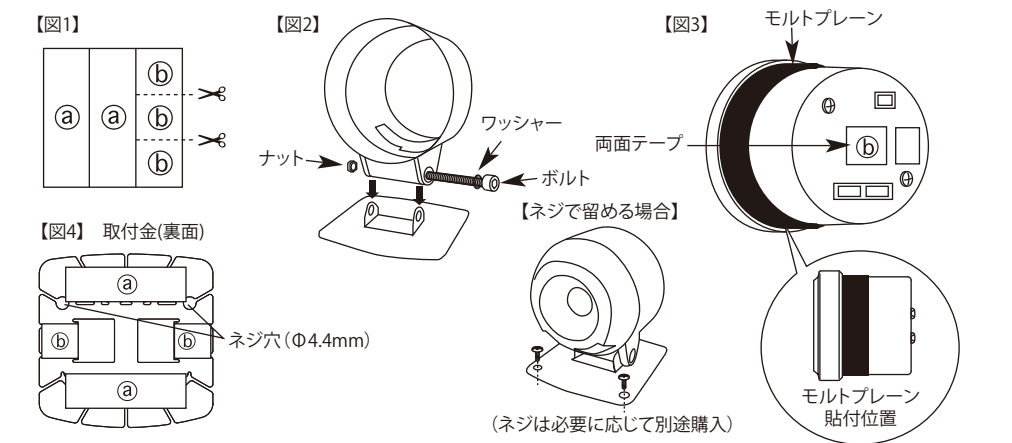


Φ60メーターホルダーと取付金の取り付け方

- 付属の両面テープ(大)を切断します。【図1】
- メーターホルダーの溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト・ナット・ワッシャーで締め付け、固定してください。【図2】
- メーターにモルトブレンと両面テープ(b)を貼ります。【図3】
- メーターホルダーの穴にメーターハーネスを通してメーターに接続します。
- メーターをメーターホルダーにセットします。このとき、各ハーネスが噛み込まないように注意してください。
- 取付金の裏面に両面テープ(a)と(b)を各2枚貼り付けます。取り付けたい場所の形状にあわせて、取付金を曲げて、貼り付けてください。【図4】

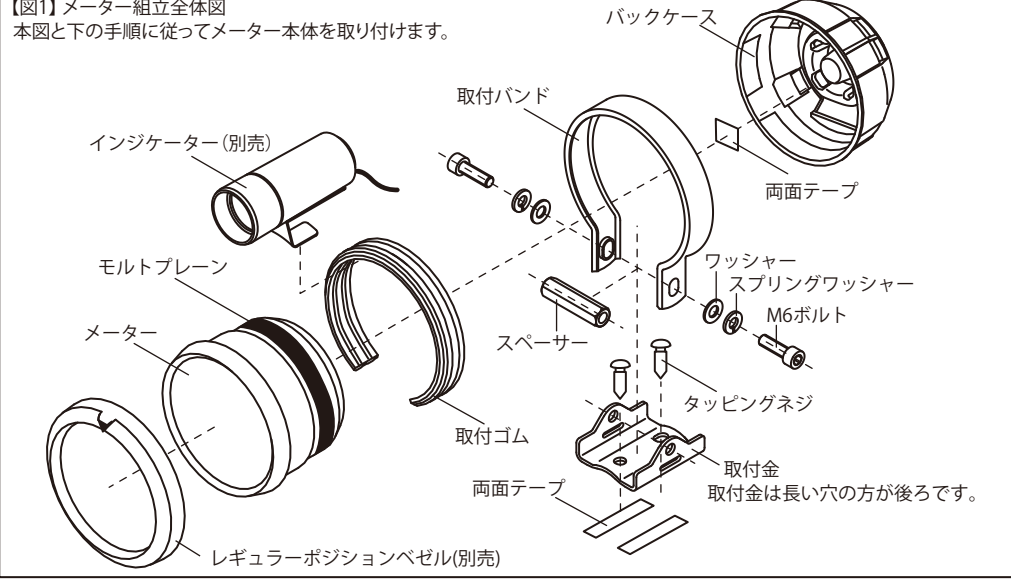
確認

- 両面テープを貼る面は、市販のクリーナーを使って、ホコリ・汚れ・油分をよく拭き取ってください。
- メーターは前面に傾けないでください。オイルが漏れる可能性があります。Aの角度は90度以上でなくてはなりません。
- 両面テープでの固定が不十分な場合、取付金の穴を利用して、市販のタッピングネジ(太さ4mm)等で固定してください。



■Φ80メーターの組立方法

Φ80タコメーター専用インジケーター・レギュラーポジションベゼルは本製品には含まれません。取り付けの場合は別途ご購入が必要です。

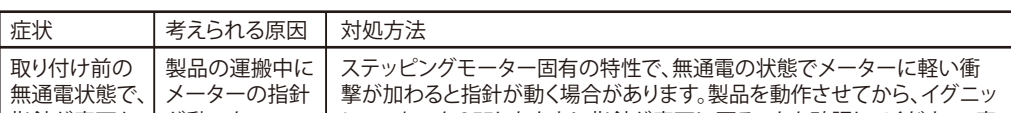
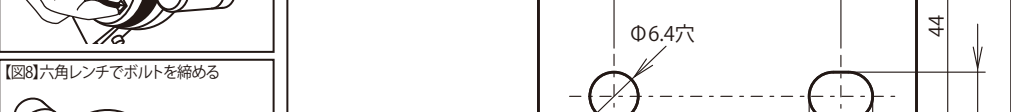
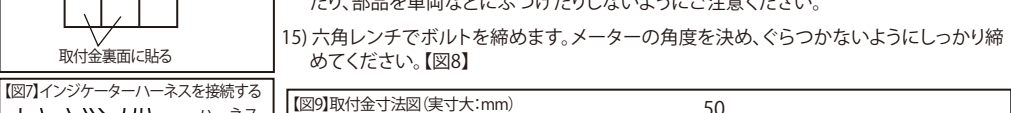
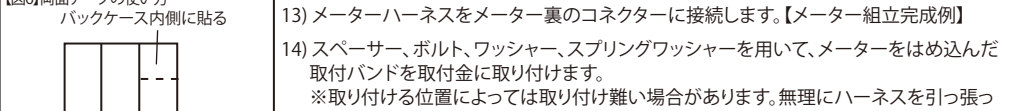
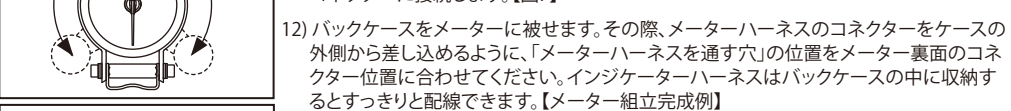
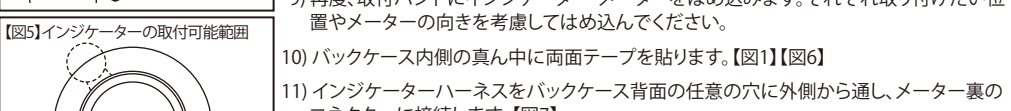
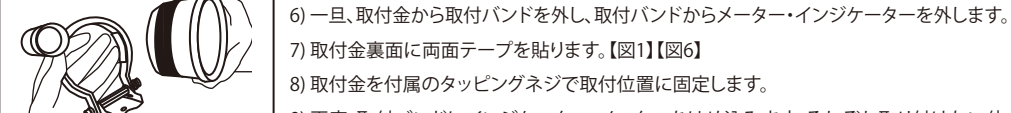


- メーターの周囲にモルトブレンを貼り付けます。【図1】
※メーターのガラス部分に接触と指紋が付きますのでご注意ください。
- 取付バンドの内側の溝に取付ゴムを沿わせませ。【図2】
- スプーサー、ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを用いて、取付バンドに取付金を仮止めます。この時点で、六角レンチを使わずに手でボルトを軽く締められた状態にしておきます。【図3】
- インジケーター(別売)を取り付ける場合はインジケーターを取付バンドにはめ込み、メーターを取付バンドに通します。この時点でインジケーターを大体どの位置に取り付けるか決定してください。インジケーターは取付金とボルトに接触しない範囲で取付角度を調整できます。【図4】【図5】※手から離すとメーターが倒れることがありますのでご注意ください。
- 取付バンドにメーターをはめ込んだ状態でメーターの取付位置を決め、取り付ける部分(インパネ等)に取付金の形状とネジ穴の位置をマーキングします。ネジ穴の位置をマーキングする際は、下の取付寸法図を参照してください。【図9】
※取り付け場所十分なスペースがあるか確認するため、メーター、インジケーターなどの必要な部品を組み立てた状態で取付位置を決めてください。
※メーターを傾けるとき、メーターが取付金にぶつかると傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

- 一旦、取付金から取付バンドを外し、取付バンドからメーター・インジケーターを外します。
- 取付金裏面に両面テープを貼ります。【図1】【図6】
- 取付金を付属のタッピングネジで取付位置に固定します。
- 再度、取付バンドにインジケーター・メーターをはめ込みます。それぞれ取り付けたい位置やメーターの向きを考慮してはめ込んでください。

- バックケース内側の真ん中に両面テープを貼ります。【図1】【図6】
- インジケーターハーネスをバックケース背面の任意の穴に外側から通し、メーター裏のコネクターに接続します。【図7】
- バックケースをメーターに被せませ。その際、メーターハーネスのコネクターをケースの外側から差し込めるように、「メーターハーネスを通す穴」の位置をメーター裏面のコネクター位置に合わせてください。インジケーターハーネスはバックケースの中に収納するとすっきりと配線できます。【メーター組立完成例】

- メーターハーネスをメーター裏のコネクターに接続します。【メーター組立完成例】
- スプーサー、ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーを用いて、メーターをはめ込んだ取付バンドを取付金に取り付けます。
※取り付け位置によって取り付けにくい場合があります。無理にハーネスを引っ張ったり、部品を車両などぶつけてはいけません。ご注意ください。
- 六角レンチでボルトを締めませ。メーターの角度を決め、ぐらつかないようにしっかりと締めませ。【図8】



症状	考えられる原因	対処方法
取り付け前の無通電状態で、指針が真下から動いている。	製品の運搬中にメーターの指針が動いた。	ステッピングモーター固有の特性で、無通電の状態でもメーターに軽い衝撃が加わると指針が動く場合があります。製品を動作させてから、イグニッションキーをOFFしたときに指針が真下に戻ることを確認してください。真下に戻らない場合は販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。